

に く け ん 通 信

●茂光洋，肉用牛全国枝肉情報データベース*の，「去勢の部」4等級以上率で大健闘！

「去勢の部」

「雌の部」

序列	名号	A4以上率 (%)	A5率 (%)
1	紀多福	100.0	74.1
2	安秀平	96.9	71.9
3	茂光洋	96.8	61.3
4	勝乃幸	96.6	74.1
5	白鵬85の3	96.3	75.5
72	北国関7	85.5	54.7

序列	名号	A4以上率 (%)	A5率 (%)
1	花清光	99.0	80.0
2	安福久	94.3	74.1
3	南百合	90.2	70.5
4	秀菊安	95.3	70.1
5	百合福久	94.3	69.8
36	北国関7	80.7	51.3
62	茂光洋	75.4	43.1

※ 家畜改良センターが2019年7月～2020年6月までにと畜された約26万頭について収集したデータ。種雄牛別の集計情報は、後代である去勢が50頭以上いる種雄牛、後代である雌が50頭以上いる種雄牛についてそれぞれ集計されています。

●本県の肉用子牛（黒毛和種）出生頭数が増えています（全国3番目）

- 肉用子牛の出生頭数について、牛個体識別全国データベースで、H30年度（2018）とH20年度（2008）を比較すると、全国では42,473頭減少していました。
- 本県の出生頭数は、熊本県、福岡県に次いで、1,341頭増加しています。

「増加」

序列	県名	H30-H20
1	熊本県	3,491
2	福岡県	1,587
3	茨城県	1,341
4	愛知県	1,278
5	千葉県	1,039

「減少」

序列	県名	H30-H20
1	宮崎県	-13,348
2	鹿児島県	-11,176
3	沖縄県	-6,050
4	大分県	-4,871
5	福島県	-4,521

●県内の肉用子牛生産状況を分析してみました。その結果，①ET産子の上場が近年増加していること，②県有種雄牛の産子が約30%を占めている傾向があります。

●全国から注目される家畜市場を目指し，特色ある交配をしましょう。

- 全国から注目されている家畜市場の県有種雄牛率は、全国の家畜市場の中でも高くなっています。
- 本県でもH22年（2010）頃から県有種雄牛率が上昇しはじめ、H27年（2015）には40%を記録。その後は少し低下しましたが、毎年、30%前後で推移しています。
- 一貫経営農場で生産される子牛を含めた子牛登記頭数では、H29（2017）以降、900頭前後の県有種雄牛産子が生まれています。



※ R2年（2020）は、11月までの上場頭数。ET産子はH24年から集計

全国の家畜市場における県種雄牛率

序列	県名	県種雄牛率	序列	県名	県種雄牛率
1	岐阜県	84%	9	山形県	16%
2	鳥取県	83%	10	大分県	15%
3	長崎県	77%	11	岡山県	12%
4	宮城県	54%	12	山口県	11%
5	鹿児島県	48%	13	秋田県	10%
6	茨城県	29%	14	広島県	8%
7	鳥根県	25%	15	福島県	5%
8	岩手県	23%	16	佐賀県	1%

※ 本県はR2年（2020）4月～11月のデータ、他県は11月市場で比較

県内の子牛登記頭数（ベスト10）

2017年度		2018年度		2019年度		
北国関7	581	14%	美津照重	566	12%	
美津照重	484	12%	北国関7	472	10%	
幸紀雄	366	9%	幸紀雄	470	10%	
勝早桜5	249	6%	茂光洋	444	10%	
茂光洋	248	6%	勝早桜5	347	7%	
美国桜	161	4%	美国桜	292	6%	
直太郎	137	3%	諒太郎	245	5%	
安福久	133	3%	百合茂	115	2%	
諒太郎	130	3%	百合白清2	105	2%	
花国安福	125	3%	福増	103	2%	
その他	1,569	38%	その他	1,479	35%	
計	4,183		計	4,638		
				計	4,886	

本県の種雄牛は、これまで2代、3代と優良な血統が繋がったことがありません。そのため、当所では、「北国関7」の息牛「北平関」について10月から精液の配布をはじめています。当種牛は枝肉重量の育種価(141.3kg)が高く、増体系の牛を目指すことができます。特に、田尻系、藤良系などで、枝肉重量の育種価が低い牛へ交配することで、後継牛の改良をすすめることができます。また、当所では、「茂光洋」号の息牛、異母3兄弟（「那珂茂晴」、「茂照国」、「茂忠6」号）についても、現在、改良組合の協力のもと、後代検定牛の育成等を行っています。

和牛の育種・改良に県種雄牛の精液を積極的に活用し、常陸牛の歴史を共につむぎましょう！

● 肉用牛全国枝肉情報データベース 4等級以上率ベスト10 主要枝肉成績
去勢（206頭中）

	名号	と畜 月齢	A4以上率 (%)	A5率 (%)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	BMS (No.)
1	紀多福	28.9	100.0	74.1	542.9	69.2	9.65
2	安秀平	30.1	96.9	71.9	462.5	68.5	8.86
3	茂光洋	29.9	96.8	61.3	522.4	66.7	8.37
4	勝乃幸	29.1	96.6	74.1	495.2	68.5	9.17
5	白鵬85の3	29.0	96.3	75.5	525.5	74.7	9.43
6	百合白清2	28.7	94.6	70.8	533.2	70.3	8.84
7	第5安栄	29.5	94.2	48.1	490.5	64.3	7.60
8	耕富士	29.7	94.2	74.4	514.2	67.0	9.15
9	幸忠栄	28.9	94.1	60.8	549.1	68.3	8.22
10	義美福	30.0	92.7	68.6	484.7	65.3	8.71
72	北国関7	30.6	85.5	54.7	511.6	65.0	7.94

雌（175頭中）

	名号	と畜 月齢	A4以上率 (%)	A5率 (%)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	BMS (No.)
1	花清光	29.8	99.0	80.0	453.1	62.6	9.12
2	安福久	30.9	94.3	74.1	443.6	71.2	9.10
3	南百合	28.6	90.2	70.5	419.0	60.9	8.62
4	秀菊安	30.8	95.3	70.1	419.4	66.9	8.76
5	百合福久	29.0	94.3	69.8	459.9	72.6	8.87
6	安秀平	32.0	98.6	69.0	412.4	65.3	8.80
7	富久竜	30.3	94.5	68.5	466.3	67.9	8.62
8	諒太郎	29.6	92.8	66.5	476.3	69.8	8.68
9	美国桜	30.5	95.3	66.0	447.5	70.2	8.52
10	耕富士	30.5	89.3	65.0	448.3	62.6	8.54
36	北国関7	31.5	80.7	51.3	445.5	61.2	7.71
62	茂光洋	29.2	75.4	43.1	453.0	61.9	7.48

● 牛個体識別全国データベース 肉用子牛（黒毛和種）出生頭数

H30年度（2018）

序列	県名	雄	雌	計
1	鹿児島県	47,179	45,447	92,626
2	北海道	40,620	35,181	75,801
3	宮崎県	36,537	34,174	70,711
4	沖縄県	16,719	14,981	31,700
5	熊本県	15,890	13,551	29,441
19	茨城県	2,654	2,353	5,007

H20年度（2008）

序列	県名	雄	雌	計
1	鹿児島県	53,334	50,468	103,802
2	宮崎県	43,409	40,650	84,059
3	北海道	41,245	37,201	78,446
4	沖縄県	19,519	18,231	37,750
5	岩手県	16,735	14,884	31,619
24	茨城県	1,919	1,747	3,666

● 全国の主要家畜市場における県種雄牛率

序列	県名	市場名	県種雄牛率	序列	県名	市場名	県種雄牛率
1	宮崎県	宮崎中央	95%	15	茨城県	全農（常陸大宮）	24%
2	宮崎県	小林	94%	16	岩手県	岩手中央	23%
3	岐阜県	飛騨	88%	17	岩手県	岩手県南	23%
4	宮崎県	都城	84%	18	島根県	島根中央	20%
5	鳥取県	鳥取中央	83%	19	大分県	豊後玖珠	17%
6	長崎県	長崎平戸口中央	83%	20	山形県	最上	16%
7	岐阜県	関	78%	21	大分県	豊後豊日肥	14%
8	長崎県	長崎壱岐	71%	22	岡山県	岡山総合	12%
9	鹿児島県	始良中央	60%	23	鹿児島県	薩摩中央	11%
10	鹿児島県	肝属中央	54%	24	山口県	山口中央	11%
11	宮城県	宮城総合	54%	25	島根県	島根西部	10%
12	鹿児島県	曾於中央	52%	26	秋田県	あきた総合	10%
13	茨城県	大子	49%	27	広島県	三好	8%
14	島根県	島根隠岐	31%	28	福島県	福島県	5%

※ 本県はR2年（2020）4月～11月のデータ、他県は11月市場で比較